

区分・種別	重要文化財(建造物)		
名称	たいさんじにおうもん 太山寺二王門 1棟		
所在地	松山市太山寺町		
所有者	太山寺	管理団体	
指定年月日	明治37年8月29日		
解説	<p>この門は太山寺の参道、一ノ門と山門の中間点にあり、もとは二ノ門をなしていた。^{さんげんいっこ}三間一戸、^{ひとのき}単層、入母屋造、一軒、本瓦葺である。門の左右室には金剛力士像を安置する。</p> <p>組物は和様の^{あまぐみ}疎組であるが、円柱の上下には^{ちまき}粽をつけ、その下部には^{そばん}礎盤を置くなど、禅宗様の手法が強く加えられた折衷様建物である。文明17（1485）年に大修理が行われ、さらに組部にも後補の跡が認められる。特に軒以上の改造は大きく、組物も正規の^{ふたてさき}二手先ではなくて、もとは楼門の腰組かとも見られている。しかしなお全体に鎌倉時代の特色をよく伝える建物である。最近では昭和4（1929）年に解体修理が行われた。</p>		

